

カゴと器と古道具

A5判 128ページ 1,760円(税込)

安部智穂 著

「暮らして尊い仕事の連続です」と著者。たとえば、朝食を、おいしく健やかに、そしてちょっと美しくしらえること。新鮮な野菜を収穫し、水でジャブジャブ洗って、ほどよい大きさのまな板の上で丁寧に切ってもりつけること。

本書では、魅力的な道具との出会いの物語、使い方の工夫、手入れ方法などを紹介。好きなものに囲まれていると、暮らしはもっと愛おしくなる。そんな思いにあふれた一冊です。



あべちほ

森暮らし案内人。1994年にタイムグラに移住。山菜や木の実を採り、野菜を育てて保存食にするほか、草木染めやカゴづくりなど、手仕事を大切にしながら暮らす。読売新聞にコラム「里山のお品書き」連載中。



好きなものに囲まれた、智穂さんの暮らし。繕って、使って、洗って、手入れするほど愛着が増す、心ときめく道具たち。
1冊の恵みの中に、暮らしの奥行きが広がる。



内容から
1章 古道具を暮らしの中に
2章 器は古いものも新しいものも好き
3章 人の手が生み出すカゴと木の道具
4章 自分で手を動かす楽しみ
Column: 古道具の手入れと日光浴/食器棚の管理/カゴの手入れ



手づくりのまな板

桜の樹皮でつくる「カッコベ」



丈夫なヨコタカゴ



しなやかなすず竹細工



ご予約はホームページまたはFAX、TELにて承ります。

お名前(ふりがな) _____ 住所 〒 _____
TEL _____

カゴと器と古道具
1,760円(税込)
*送料は300円
冊

〒171-8510 東京都豊島区西池袋2-20-16 婦人之友社

FAX 03-3982-8958 TEL 03-3971-0102
E-MAIL: tsuhan@fujinnotomo.co.jp HP: https://www.fujinnotomo.co.jp/

